

第15回 世界音楽療法大会 に参加して

The 15th World Congress of Music Therapy Tsukuba, Japan, 2017 July4(Tue) – 8(Sat)

3年前でしたか、この第15回大会が日本で開催されると風のうわさに聞いたときから私の心は決まっていました。「アゴラ太鼓のパフォーマンスを世界の皆さんに見てもらおう！」

奈良近辺でしか活動をしていないアゴラ太鼓のメンバーたちにとって茨城県は遠く、太鼓の運送も初めての経験。いったいどれくらい費用がかかるのか、また2~3日の休みを取るのに各々が仕事をしている事業所の理解は得られるのか、不安の種はいろいろありましたが、保護者の皆さんの協力も得て1年以上前から根回しをしてきました。近畿労働金庫様や教職員生涯福祉財団様からのご助成も頂きました。

そしていよいよ迎えたその日！！

開演の12:30近くになると、つくば国際会議場エントランスホールに設けられた仮設舞台の前、そして階段、吹き抜けになった2階の通路には午前のセミナーやワークショップを終えた人々が続々と集まってきました。

「皆さん、おいでくださってありがとうございます。奈良から来たAgora-daikoです。私たちのステージタイトルは…みんなの“Wa”、笑顔の“Wa”、たいこの“Wa”（このタイトルは1年前に皆で考えました）」

そして、旅の疲れも見せず、おおぜいの観客の前で堂々と演奏してくれたメンバーたち。ブラボー、ヒュー！



開演前にはみんなでチラシやパンフレットを配りました



みんなの“Wa”、笑顔の“Wa”、たいこの“Wa”



タイの学生さん

さて、アゴラ太鼓パフォーマンス以外に、水野はポスター発表と和太鼓体験ワークショップを企画。

ポスターの前で待機していると何年ぶりの懐かしいお顔や、友だちの友だちや、ドイツの精神科の病院で和太鼓を取り入れようとしている音楽療法士さん、素粒子の研究をしてきたけれど今は身体教育学に関わっているという先生など楽しい出会いがありました。

和太鼓ワークショップは当初定員 30 名と言われていたのでレジュメも 30 部しか作っていかなかったのに、入場制限はしないとのことで 100 名くらいの参加があり、大慌て。バチも太鼓も足りないし、どうしよう、とヒヤヒヤしましたが、案ずるより生むが易し。スタッフの皆さんが

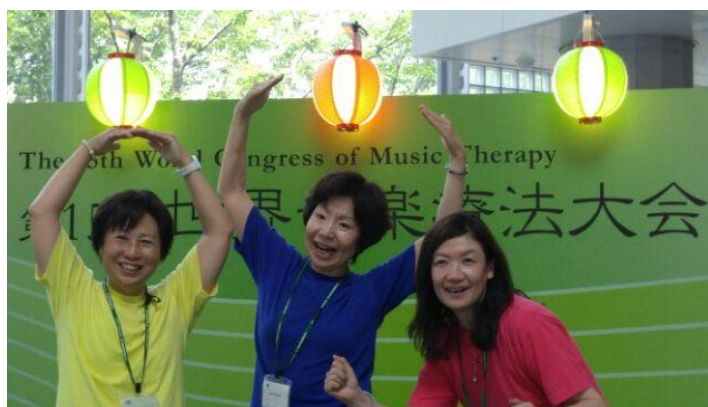
うまく調整して下さい、仲良く交代で体験していただくことができました。

それにしても、私に残された課題は英語力。やっているうちにドイツ語混じり、しまいには大阪弁。でも“Do you understand?” と訊くと、皆ウンウンと頷いてくださっていたからヨシとしよう(^^;;



今回の大会に全日参加したアゴラ音楽クラブのスタッフはピアノの大井先生と太鼓ボランティアのはせちゃんこと長谷川さん。力仕事から撮影、事務局との交渉や食料調達まで何から何までサポートして頂きました。また、何名かの参加者の方は会場で撮って下さった写真や動画を送って下さいました。感謝感激です。

(水野恵理子・記)



最終日の開放感～ 左から はせちゃん、水野、大井先生